



岩沼市議会議員

きくち忍 ニュースレター(活動報告)

No.12 2019/4



～平成最後のニュースレター～

4月30日に「平成」が幕を閉じます。平成のその先の新しい町づくりに向けて、これからもチャレンジし続けて参ります。

3月議会 一般質問

①これからの防災について

近年、世界的規模の気候変動などと言われているが、台風や豪雨など、自然災害の規模が年々甚大なものとなっている。その被害は、市民の生命、財産のみならず、社会インフラや農業を始めとした産業にも大きな影響を及ぼしています。これまでの対策や教訓は、今後の防災対策にも大きく資すると思われませんが、これからの防災対策についてどのように考えているのか伺う。

②香害と化学物質過敏症について

身の回りにある、ごく微量の化学物質によって様々な健康への影響を引き起こす化学物質過敏症は、その病態や発症の仕組みなどまだ明らかになっていないが、最近では柔軟剤や洗剤、芳香剤の香りにも苦しむ人が増えていると言われています。これは「香りの害」と書いて「香害(こうがい)」とも呼ばれ、健康な人であれば許容できる程度の極めて微量であっても、香りに含まれる化学物質との接触で、めまいや吐き気、頭痛などの症状が生じる人もいます。影響が大きいと化学物質過敏症、シックハウス症候群、ぜんそくなどの病気を引き起こし、そのうち最も深刻なものが化学物質過敏症で、これらに苦しむ推定患者数は、専門医によると700万人とも言われています。全ての人が健康で住みよいまちをつくるためにも、香料による健康への影響があることを周知する必要があると考えますが、見解を伺う。

③農福連携について

農家の高齢化に伴う労働力不足という大きな問題を抱える農業分野と、障害者等の就労の場の確保を求める福祉分野の連携が注目されている、障害者にとっては、能力を發揮して社会に参加し、経済的な自立につながり、また、土に触れ、植物を育てることで精神的にも肉体的にも良い作用をもたらすと期待されている。農業と福祉における双方の課題を解決しつつ、双方に利益のあるWin-Winの関係を模索して作り上げていくことがこの農福連携の目的であり、障害者等の就労の場の確保や農山村の活性化など、活力ある地域づくりに綱がる事業が各地で取り組まれています。岩沼市も農福連携の推進を後押ししてはどうか伺う。

トピックス

議会での様子を映像でご覧になれます。
<https://iwanuma-city.stream.jfit.co.jp>



菊地忍 岩沼

検索



rrshinobu@yahoo.co.jp

090-4049-5209

日々の活動の一部をご覧ください。



指定避難所の現地調査



インターン生とゴミ拾い活動



大学生の議員インターンシップを受け入れ
いっしょに地域の課題を見たり聞いたりして
いっしょに活動に参加し
政治と市民生活が密接に関わっている事など伝えました。



土砂災害危険区域の現地調査



東京ビックサイトで展示会

今年も最先端技術を見て
聞いて学んで来ました。



東保育所4月オープン

2月に開催した議会報告会の様子です。

